

東京大学中東地域研究センター (UTCMES)
[スルタン・カブス・グローバル中東研究寄付講座]

第7回定例研究会

ハンガリーのギリシア商人

—18世紀の中央ヨーロッパとオスマン帝国をめぐって—

報告者：秋山晋吾（一橋大学）

要旨

17世紀末、オスマン、ハプスブルク両勢力の地政学的関係は反転し、150年あまりに及んだハンガリー中央部のオスマン支配は終わった。しかし、それに続く18世紀初頭から、ハンガリーにおける遠隔地商業および地域商業の担い手として急速にその人数と影響力を増加させていったのは、オスマン帝国臣民の商人（ギリシア商人）だった。彼らは19世紀初頭までの100年あまりの間、ハンガリーの商業の主役であった。本発表では、これらの商人の活動とその背景を概観することで、18世紀の中央ヨーロッパとオスマン帝国の関係を考えたい。



日時：2013年2月16日(土) 15:30-17:00

(参加自由、事前連絡不要)

会場：東京大学駒場キャンパス18号館1階
メディアラボ2 *1

*1 土曜日につき18号館入口は施錠されていますので、できる限り定刻までにお越しください。
なお、都合により時間や会場が変更される場合は、当センターのホームページにてお知らせします。

問い合わせ先：東京大学中東地域研究センター (UTCMES)
03-5465-7724/info@utcmes.c.u-tokyo.ac.jp
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UTCMES/index.html>



東京大学中東地域研究センター
UTCMES
The University of Tokyo Centre for Middle Eastern Studies